

進化 ← 長崎!! ↑

団塊の世代が75歳以上となる2025年には、長崎市の高齢化率は約35%となることが予想されます。

市では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域ごとに必要な医療や介護などのいろいろなサービスが切れ目なく提供される「長崎版地域包括ケアシステム」の構築に取り組んでいます。



あなたらしく暮らせる「すまい」を考える

〜長崎版地域包括ケアシステム〜

「すまい」は生活を支える植木鉢

植木鉢や土のないところに植物を植えても育たないのと同じように、地域包括ケアシステムでは、高齢者の尊厳など“その人らしさ”が守られた「すまい」（＝植木鉢）があることが大切になります。



出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング「＜地域包括ケア研究会＞地域包括ケアシステムと地域マネジメント」（地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業）、平成27年度厚生労働省老人保健健康増進等事業、2016年

自分らしく暮らす

「いくつになっても生きがいを持って、健康で暮らしたい」。

そのために必要な医療や介護、見守りや買い物支援などを受けられることが大切ですが、サービスを受けられる「すまい」がないといけません。

可能な限り「自宅」で暮らすための支援や、心身の状態にあわせた「施設」での暮らしなど、地域にはいろいろな「すまい」・「すまい方」があります。

自分や家族が医療・介護が必要になったとき、どうしたらよいかを考えてみましょう。

【問い合わせ】地域包括ケアシステム推進室 ☎ 829・1421
高齢者すこやか支援課 ☎ 829・1146

特集

市民

市政

「ご意見」
プレゼント

生活情報

子育て

健康

被爆者援護

税

講演・講座

もよおし

おしらせ

募集

あなたが「あなたらしく」暮らすには 家族が「そのひとらしく」暮らすには

ひとそれぞれの「すまい」の選び方



岩屋町 Tさん宅

自宅で暮らし続けるために ～住宅の改修～

入院している間に、足の力が落ちて歩行が不安になり、自宅に戻った後の日常生活が心配でした。そこで、入院中に介護保険を申請して、認定後に、自宅前にスロープと手すりを取り付けました。自宅での生活も不安が減って、今はリハビリに取り組んでいます。

介護が必要になる前に、安心できるすまいを ～有料老人ホーム～

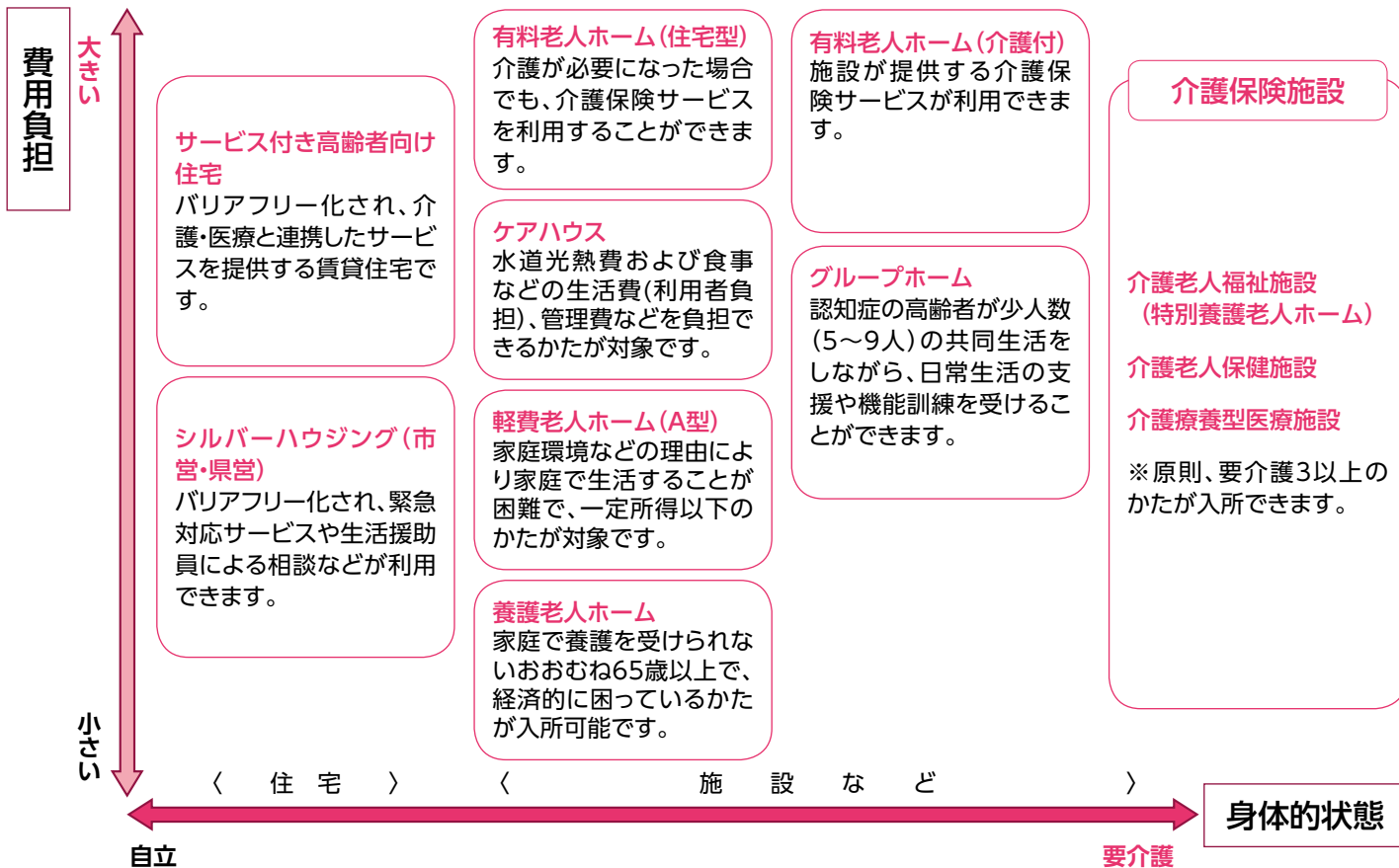


Tさん夫妻

斜面地にある自宅での介護が心配になり、歳をとっても、お互い安心して暮らせるすまいをと思い、施設を探しました。地元で見つけることができたので、友人と会ったり、これまでの生活をあまり変えることなく、安心して夫婦ふたりで生活を送っています。

あなたに合った自宅以外の「すまい」を探してみましょう

この図は、すまいを考えるおおまかな目安を示したものです。長崎市では、「長く元気で! すこやかガイドブック」で施設などを紹介しているほか、高齢者すこやか支援課や地域包括支援センターでも相談を受けています。



みんなでつくろう! 長崎版地域包括ケアシステム

NHKの番組にも出演された訪問看護師の秋山正子さん(あきやま まさこさん)を講師に招いて、講演とシンポジウムを開催します。あなたらしい生き方について一緒に考えてみませんか。入場無料。電話でお申し込みください。

【日時】3月20日(祝)午後1時~3時30分(午後0時30分開場)

【場所】長崎原爆資料館ホール【定員】350人

【申し込み】3月17日(金)までに、あじさいコール(☎822-8888)へ。



講師 秋山正子さん